

令和 2 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立金塚小学校学校協議会

1 総括についての評価

例年とは違う状況の中で、学校教育を継続して行えたことはたいへんよかった。運営に関する計画の自己評価からも学校が教育活動に真摯に取り組まれたことが分かる。また、そのことが保護者対象の学校アンケートや児童アンケートに反映され、学校に対する信頼も大きく増している。全国学力調査や体力テストは、本年度行われなかったが、学校独自の指標からも昨年度より学力・体力ともに向上していることがわかる。運動会等の行事、登校時の子どもの様子を見てみると、生き生きと活動していることが見て取れた。いじめについては、解消している割合が 100%となっているが、いじめアンケートの確実な実施等により、早期に対応し解決に向けて取り組まれた結果と言える。今後も継続して子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように努めてもらいたい。学力の点では臨時休校等、多くの制約がある中で教育課程を終えることができることは非常によかった。また、体力の面でも感染症防止対策を万全にしたうえで様々な取り組みがなされ、子どもの体力向上が図られたことはたいへん素晴らしいことである。そのため、全体を通しての総括は概ね妥当である。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】

いじめについては、日々の子どもの様子や、アンケートなどにより把握され、解決に向けて取り組まれている。「学校のきまり・規則を守っていますか」についてもこの 2 年間は向上している。「金塚プライド」という教育方針を立て、教職員が一丸となって指導にあたっている成果と言える。不登校に対しては、学校全体で課題を共有し、解決に向けて取り組んでいる。関係諸機関と連携し、地域も声掛けなど見守りをしていきたい。

年度目標【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学力向上について、全国学力テストは行われなかったが、継続して行っている金塚小学校の基礎学力テストの結果から確実に児童の学力向上が見て取れる。学びの定着のためのスキルアップクラスなど、個に応じた指導をこのような状況の中でも継続して行ってきた成果が表れている。また、子どもの学びの基本姿勢を提示し、学校全体で取り組むことは大切なことである。

体力向上については、学校全体で体育を研究教科として取り組んでいるので、運動が好きな子どもが増えている。休み時間に外で元気に遊んでいる姿をよく見かける。欠席する子どももたいへん少なく、生活習慣改善のための学校の様々な取り組みと家庭との連携の成果が表れている。

3 今後の学校園の運営についての意見

最終評価の結果を見ると、十分に協議され次年度への改善点と継続して取り組むことが示されている。「金塚プライド」の教育方針のもと、教職員が指導の方向性を同じにして指導にあたっているため、取り組みの成果がしやすい。学級数も少ない、少人数の学校ではあるが、それを逆に強みとして地域・保護者と連携して取り組むことによってさらに成果が向上するだろう。